

新刊案内

株式会社 新典社

2023年6月～2024年5月 刊行書籍



学会員限定 新刊特別割引販売ご注文について

特別割引販売期間

2024年7月25日まで

割引価格

全品表示価格より**2割引**

送料

発送は日本国内のみ、送料は全国一律で715円（税込）

お支払い方法

書籍発送時に郵便局の払込取扱票を同封いたします。
また、書類に銀行の振込先も記載いたしますので、
ご都合のよろしい方法でお支払いください。
振込手数料は、ご負担下さい。

ご注文方法

ホームページ (<https://shintensha.co.jp/>)

⇒お問い合わせ⇒学会会員様注文用

メール：info@shintensha.co.jp

FAX：03-5246-4245

郵送：〒111-0041

東京都台東区元浅草2-10-11吉延ビル4F

お問い合わせ

メール：info@shintensha.co.jp

FAX：03-5246-4245

郵送：〒111-0041

東京都台東区元浅草2-10-11

吉延ビル4F

ご注文時の注意点 ※必ずご確認ください

- ・書名・部数・所属学会名、公費・私費の区別をお知らせ下さい。
- ・公費注文の場合、書類の宛名、書類の必要枚数、日付の有無、代表者印の有無、送料の記載方法（書籍代に含めた方がよいか）をお知らせ下さい。
- ・送付先（郵便番号・住所・電話・氏名）をお知らせ下さい。
- ・既刊書籍のご注文も特別割引にて承ります。新典社ホームページで書籍情報の確認、図書目録の閲覧・ダウンロードが可能ですので、ご確認のうえ、お問い合わせ下さい。

新典社ホームページ <https://shintensha.co.jp/>



古代中世文学論考 第50集 古代中世文学論考刊行会 編
撰関期の離婚事例に見る女性の意思決定に関する一考察 大村美紗
／『源氏物語』花散里巻の「垣根」と光源氏 平田彩奈恵／『源氏物語』における法華八講 小滝真弓／「そぞろ寒し」という感覚 佐藤有貴／「類型」としての「例の思ふ人」語法 坪美奈子／『有明の別』における男装の意義 邱春泉／『醒睡笑』の狂歌 児島啓祐／翻刻『和歌類葉集』（後篇） 三村晃功

ISBN978-4-7879-3550-2 A5判上製 256頁 6490円



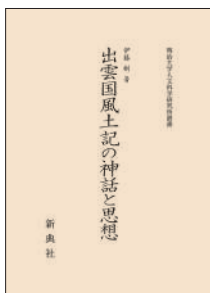
古代中世文学論考 第51集 古代中世文学論考刊行会 編
『古事記』における会話文の引用形式と表記方法 李清玉／『古事記』における動物観 西村雪野／「陽成院歌合（夏虫恋）」の時代的位置 顧宇豪／『源氏物語』若菜下巻朱雀院五十賀の試楽 山本夏希／光源氏の瘡病（わらはやみ） 川島絹江／女子美術大学蔵『雨やどり』 石澤一志

ISBN978-4-7879-3551-9 A5判上製 264頁 6710円



古代中世文学論考 第52集 古代中世文学論考刊行会 編
『先代旧事本紀』におけるカムムスヒの役割と系譜について 青柳まや／『蜻蛉日記』中・下巻成立考 大貫正皓／『源氏物語拔萃』（広島大学図書館蔵）考 加藤伸江／三条西家本『和泉式部日記』不審本文考 鎌田凌矢／道雅当子内親王密通事件についての史的考察 大村美紗／延慶本平家物語における維盛の高野巡礼 谷口耕一／翻刻『三家類題抄』（前篇） 三村晃功

ISBN978-4-7879-3552-6 A5判上製 272頁 6930円



出雲国風土記の神話と思想 伊藤剣 著

現伝『出雲国風土記』をめぐる筆者の問題意識／第一部 律令官人と風土記 実務性と表現効果／律令官人出雲臣広嶋の風土記編纂意識／他／第二部 現伝『出雲国風土記』の成立とその構成 『日本書紀』神代巻の受容状況／現伝『出雲国風土記』の『日本書紀』受容態度／他／第三部 『出雲国風土記』の世界観 大穴持命を中心とした神話世界／『出雲国風土記』の出雲と越／他／第四部 『出雲国風土記』の文学性 口誦と表記／郷次と『出雲国風土記』の編述／他

ISBN978-4-7879-5519-7 A5判上製 368頁 12980円



上代日本語の表記とことば

根来麻子 著

第一部 宣命特有の表現 「現(御)神」と「明神」/「現(御)神」
「明神」の訓/他/第二部 宣命の表記に関する問題 宣命の表記と
読み上げ/謙譲語「タマフ(下二段)」の表記「食」について/第三
部 正倉院文書特有の表現 督促の表現/「廻」字の用法と熟語/第
四部 宣命と正倉院文書とのかわり「緩怠(怠緩)」「公民」の典
拠と運用/「暫間」「暫之間」の成り立ちと運用/第五部 上代文献
の諸表現 『万葉集』『明津神 我が大君』をめぐって/『播磨国風土
記』賀毛郡雲潤里条の主題/他 *第41回上代文学会賞受賞
新典社研究叢書368 ISBN978-4-7879-4368-2 A5判上製 336頁 11880円

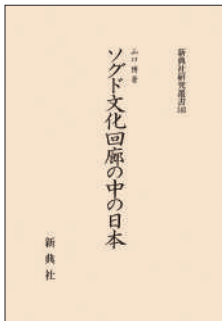


新訂 懐風藻漢字索引

辰巳正明 編

*不比等や大津皇子らの漢詩を収めた日本最古の漢詩集・懐風藻の
用字を漢字の部首から検索。群書類従版を底本に、天和・宝永・寛
政版本と校合して校訂本文を定め、部首による漢字検索も可能とし
た。懐風藻の精緻な読解をサポートする待望の新訂版。既刊に『懐
風藻 古代日本漢詩を読む』好評発売中。

ISBN978-4-7879-0654-0 A5判並製 224頁 2750円



ソグド文化回廊の中の日本

山口博 著

第一 ソグド人の編 絶景冬のエルミタージュ美術館の章/ソグドと
いう民族の章/他/第二 ソグド人日本渡来の編 日本道の章/ソグ
ド人渡来の章/第三 ソグド壁画の編 アフラシアブ遺跡のソグド王
謁見壁画の章/エルミタージュ美術館壁画の章/他/第四 ソグドに
よる神話等伝来の編 能登半島にイソップの話伝来の章/史国商人
の売買した火鼠の皮衣の章/他/第五 歌舞好きのソグド人の編 胡
旋舞が唐へ伝播の章/サマルカンドの水掛け舞楽の章/他

新典社研究叢書363 ISBN978-4-7879-4363-7 A5判上製 392頁 13860円



平安朝の物語と和歌

吉海直人 編

第一部 源氏物語以前/第二部 源氏物語/第三部 源氏物語以後
/第四部 和歌 *平安朝文学の世界を物語と和歌から探求。源氏・
伊勢・大和・狭衣・夜の寝覚・栄花・兼盛集・百人一首・職人盡歌
合を論じる21本。(執筆者:安藤徹・飯塚ひろみ・池田大輔・乾澄子・
井野葉子・上原作和・岡田ひろみ・勝亦志織・亀田夕佳・カーロイ=
オルシヨヤ・榎井亜依・咲本英恵・須藤圭・高橋亨・高橋麻織・外
山敦子・西本寮子・野村倫子・原豊二・吉海直人)

新典社研究叢書364 ISBN978-4-7879-4364-4 A5判上製 400頁 14080円

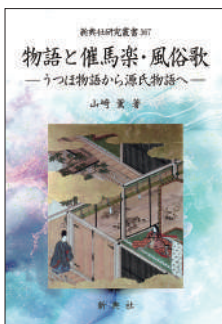


言葉で繙く平安文学

保科恵 著

順を追って読むこと—更級日記の構文解析を起点として—/省略を想定する思考—伊勢物語第四段の和歌の解釈から—/言葉の意味に忠実に—虫愛づる姫君の用語「かたはら」—/助動詞の表現と効果—「せたまふ」の示す意味—/表現を受容する方法—古典文章の構文を考える—/構文の認識を見直す—鎖型構文・文体の融合など—/老婆論理と下人論理—芥川龍之介の羅生門—

新典社選書120 ISBN978-4-7879-6870-8 B6判並製 240頁 2090円



物語と催馬楽・風俗歌 — うつほ物語から源氏物語へ —

山崎薫 著

第一部 『うつほ物語』における催馬楽・風俗歌 「祭の使」巻と「菊の宴」巻の催馬楽引用/「内侍のかみ」巻における唱和歌と風俗歌「大鳥」/「蔵開」巻における風俗歌「名取川」/第二部 『源氏物語』における催馬楽・風俗歌 催馬楽「山城」と「瓜」の和歌/催馬楽「山城」と歌枕「こまのわたり」/「紅葉賀」巻の催馬楽引用/「賢木」巻における催馬楽「高砂」/『源氏物語』と風俗歌/他

新典社研究叢書367 ISBN978-4-7879-4367-5 A5判上製 288頁 10120円



源氏物語の皇統譜

春日美穂 著

第一編 『源氏物語』の帝と光源氏 空蟬の出自/「賢木」巻の五壇の御修法/朱雀帝の譲位/朱雀院の病/「薄雲」巻における太政大臣の死/藤壺の死/冷泉帝の祈り/「野分」巻の冷泉帝/「朝顔」巻の光源氏/朱雀帝の承香殿女御の死/朱雀院の五十の賀/第二編 平安期の文学作品の帝 『竹取物語』の帝の(死)と御世/清少納言の祈り/敦成親王を抱く一条天皇

新典社研究叢書372 ISBN978-4-7879-4372-9 A5判上製 328頁 11660円



『源氏物語』寒暖語の世界

山際咲清香 著

第一部 『うつほ物語』から『源氏物語』へ 反転する「ぬるし」の系譜/転成する「暑し」の系譜/乖離する「涼し」の系譜/他/第二部 平安の物語文学における寒暖語と〈風〉の諸相 『源氏物語』若菜上・下巻の〈風〉と寒暖語/『狭衣物語』の寒暖語と〈風〉/『浜松中納言物語』の〈風〉と寒暖語/他/第三部 『源氏物語』の寒暖語と言葉に着目した高等学校の授業実践 語脈を通じて面白く読む/複数巻の寒暖語を味わう/移りゆく心情語/他

新典社研究叢書373 ISBN978-4-7879-4373-6 A5判上製 496頁 17600円



『源氏物語』の薫りを読む 吉海直人 著

『源氏物語』と「練香」／第一部 薫物編 夕顔巻の「移り香」／若紫巻の「追風」／感染する「薫り」／「薫り」のすりかえ／第二部 嗅覚編 「かうばし」考／『源氏物語』以外の「かうばし」／「なつかし」と「人香」／「香をなつかしきみ」／第三部 用語編 若紫巻の「伏籠」／「心にく」い薫り／「くゆる」薫り／「百歩香」／「香染」と「丁子染」／平安時代以降の「薫物」／第四部 事典編 薫物用語事典

新典社選書118 ISBN978-4-7879-6868-5 B6判並製 376頁 3300円

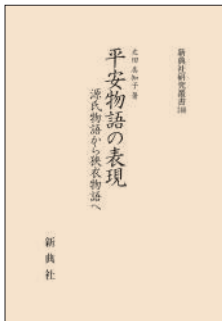


「源氏物語」巻首尾文論 半沢幹一 著

段落／文の長さ／巻の長さ／引用／冒頭語／末尾語／文の種類／文の内容／巻相互の関連性／各巻の照応関係

＊源氏物語は一つの長編小説であるとともに、五四編の短編小説でもある。その長編と短編の兼ね合いがどうなっているか、各巻の冒頭文と末尾文のありようから明らかにする、新・物語文章論。

新典社選書121 ISBN978-4-7879-6871-5 B6判並製 224頁 1980円



平安物語の表現 源氏物語から狭衣物語へ 太田美知子 著

第一部 源氏物語の表現 「藻」の比喩／「梅」と「鏡」の比喩／「文」の語脈／第二部 狭衣物語の表現 狭衣物語を考える上で／狭衣物語の表現／狭衣物語と六条斎院祓子内親王

＊源氏物語と狭衣物語。二つの物語の異なる成り立ちを「言葉」への着目から解き明かす。歌ことばが持つイメージや両義性、漢詩文の寓意性、語脈、物語取りといった多様な方法がひらく物語世界。

新典社研究叢書366 ISBN978-4-7879-4366-8 A5判上製 504頁 17820円

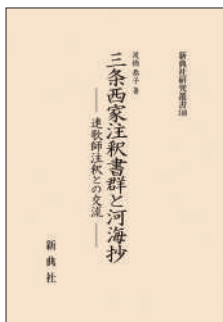


『堤中納言物語』滴注 後藤康文・岡田貴憲 注釈

『花桜折る中将』／『このついで』／『虫めづる姫君』／『ほどほどの懸想』／『逢坂越えぬ権中納言』／『貝あはせ』／『思はぬ方にとりする少将』／『はなだの女御』／『はいずみ』／『よしなしごと』／「冬ごもる」断簡

＊モットーは「前のめりに間違える」。果敢な本文改訂による合理的読解案の数々を縦横無尽に提示。『虫めづる姫君』で有名な現存唯一の短篇物語集『堤中納言物語』の、久々にして真に革新的な注釈書。

新典社注釈叢書28 ISBN978-4-7879-1528-3 A5判上製 236頁 8360円



三條西家注釈書群と河海抄 —— 連歌師注釈との交流 ——

渡橋恭子 著

序章 『河海抄』と三條西家注釈書群との関わり／第一章 『一葉抄』に見る『河海抄』享受の実態と特徴／第二章 『弄花抄』における『河海抄』享受／第三章 『細流抄』における『河海抄』享受／第四章 『明星抄』における『河海抄』享受／第五章 『山下水』における「箋」「私」の検討／終章 三條西家注釈書群に見る『河海抄』享受／附章 『河海抄』における出典離化表現

新典社研究叢書369 ISBN978-4-7879-4369-9 A5判上製 400頁 14080円



室町期和歌連歌の研究

伊藤伸江 著

一 今川氏の文学 今川範政と和歌／神宮文庫本『正徹百首』翻刻／今川了俊と範政と／二 心敬の和歌・連歌の様相 心敬と慈円和歌／見えないものを見ること／心敬発句考／心敬和歌の特質／三 宗祇時代の連歌と地方文化 名所和歌と宗碩／『老葉』注の広がり／称名寺蔵『老葉抄』翻刻／国人衆と連歌／能順の宗祇追慕／連歌師能順年譜

新典社研究叢書370 ISBN978-4-7879-4370-5 A5判上製 512頁 18150円

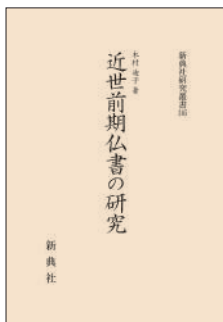


百韻連歌撰注釈 第一巻

連歌注釈書刊行会 編

I、正慶元年九月十三夜「称名寺阿弥陀堂百韻」／II、『紫野千句』第一「何路百韻」／III、延徳四年四月八日「何船百韻」／IV、永禄三年十一月十一日「何路百韻」／V、文禄三年三月四日「何衣百韻」
＊前句と付句の対話を基本とする連歌。即興の中で繰り広げられた付合の精髓を味わい、百韻連歌をいかに読み解くのかに挑んだシリーズの第一弾。本文・解題・句頭索引・作者名索引。(編集担当者：岡崎真紀子・永田英理・廣木一人・松本麻子・山本啓介)

ISBN978-4-7879-0653-3 A5判並製 272頁 2970円



近世前期仏書の研究

木村迪子 著

近世文学と近世仏書／第一部 浅井了意と仏教 浅井了意『密厳上人行状記』／浅井了意『観無量寿経鼓吹』について／浅井了意仏書考／他／第二部 仏書出版の近世 近世前期における『孝養集』の伝播とその背景／近世前期における地方在住僧侶の出版活動／川勝五郎右衛門の出版活動／勸化本作家玄貞と一七世紀末上方出版／第三部 近世仏書の展開 近世前期の仏典注釈／和刻本仏書に見る漢籍受容／『拾穂書』ならびに著者羊歩について／他

新典社研究叢書365 ISBN978-4-7879-4365-1 A5判上製 368頁 13046円



香道と文学 —— 伝書にみる古典受容 —— 武居雅子 著

香道の専門用語／第一部 大枝流芳の香道伝書を通して 『心遠齋香道叢書』と大枝流芳／大枝流芳による刊本香道伝書四書と文学／『香名引歌之書』I・II／「香道深緑」考／第二部 菊岡沾涼の香道伝書を通して 『香道蘭之園』の成立と概要／『香道蘭之園』組香と文学／『香道蘭之園』組香と『夫木和歌抄』／「源氏千種香」の依拠本を探る／「名香古歌古詩」

新典社研究叢書371 ISBN978-4-7879-4371-2 A5判上製 428頁 15620円



明治・大正の文学教育者 齋藤祐一 著

—— 黒澤明らが学んだ国語教師たち ——

冢田淳五郎／細田謙蔵／木内柔克／平田盛胤／山根勇哉／西脇玉峰／横地清次郎／内海弘蔵／杉敏介／福島四郎／高嶋米峰／堀重里／小原要逸／佐伯常麿／三井甲之

＊数多くの著名人を輩出した旧制京華中学校。そこに集った教師の生涯と文化的営為をたどり、明治・大正期の教育の実相を克明に描き出す。近代文学史にも名を残す教師十五名の肖像。

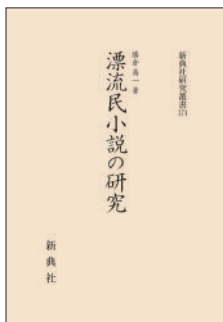
新典社選書116 ISBN978-4-7879-6866-1 B6判並製 344頁 2970円



現代文化のなかの〈宮沢賢治〉 大島文志 著

第一章 イメージへの挑戦 アニメ化される「風の又三郎」／「注文の多い料理店」の絵本化に関する三つの考察／「ものがたり」から生まれる絵本／他／第二章 宗教から家族へ 野村美月「文学少女」シリーズ／橋本紡「半分の月がのぼる空」における宮沢賢治作品の受容／「銀河鉄道の夜」のアダプテーション／他／第三章 「科学」と「命の循環」 「氷河鼠の毛皮」と批判的技術主義／大江健三郎「革命女性」における「農民芸術概論綱要」の再創造／他

新典社選書119 ISBN978-4-7879-6869-2 B6判並製 376頁 3300円



漂流民小説の研究 勝倉壽一 著

漂流民小説の概要／泉鏡花「印度更紗」論／井伏鱒二「オロシヤ船」論／菊池寛『黒船来』の問題／井伏鱒二『ジョン万次郎漂流記』論／織田作之助『異郷』論／小沼丹の漂流民小説／久生十蘭「重吉漂流紀聞」論／久生十蘭「藤九郎の島」論／西川満「ちよぷらん島漂流記」論／井上靖「漂流」の問題／井伏鱒二「漂民宇三郎」論／大黒屋光太夫の処遇／新田次郎「巴旦島漂流記」論／吉村昭「漂流」論／三浦綾子「海嶺」論／吉村昭『花渡る海』論／他

新典社研究叢書374 ISBN978-4-7879-4374-3 A5判上製 352頁 12430円



向田邦子の会話文トランプ

半沢幹一 著

シナリオ「あ・うん」のセリフ／エッセイ『父の詫び状』の会話文／小説『思い出トランプ』の会話文

*類まれなシナリオ作家である向田邦子の秘策は会話文にあった。シナリオからエッセイを辿り、短編集『思い出トランプ』の会話文を読み解く。遺憾なく発揮される向田のセリフ回しを堪能できる一冊。

新典社新書85 ISBN978-4-7879-6185-3 新書判並製 160頁 1100円



ナルシズムの力 — 村上春樹からまどマギまで —

田中雅史 著

第1章 空虚感と安心／第2章 村上春樹のメタファー／第3章 現代社会と「偽りの自己」／第4章 現代のサブカルチャーにみられるナルシズムと自我理想

*文学やアニメ、マンガに現れる喪失感や全能感、自己愛の心理を幼児期の心の世界と比較して読み解き、空虚な心を支える真のナルシズムを見出す。村上春樹、小野不由美からジブリ、まどマギまで。

新典社選書117 ISBN978-4-7879-6867-8 B6判並製 264頁 2310円



続・世界観光事情 まち歩きを楽しむ

秋山秀一 著

バース／チュニスとその周辺／アイルランド／カッパドキア／アムステルダム／ウルグアイ／ジョージア／デリー／ラオス／平遥古城／ボンペイ／ブラチスラバ／ナスカ／オビドス／ブハラ／アブ・シンベル神殿／テオティワカン／ペテルゴフ／ホイアン／他

*まち歩きの特化が美しい写真とともに旅の記憶を綴る。土地に刻まれた歴史や文化をも堪能できる至高のエッセイ。

ISBN978-4-7879-7873-8 A5判並製 176頁 1958円

注文書籍情報記入欄

書籍名	冊
書籍名	冊
書籍名	冊
書籍名	冊
書籍名	冊

注文者情報記入欄

私費・公費 書類の宛名【公費】

請求書 枚 見積書 枚 納品書 枚

日付の有無 有 ・ 無

代表者印の有無 有 ・ 無

送料の記載方法 書籍代に含む・書籍代に含めない

所属学会名 _____

送付先郵便番号 〒 _____

送付先住所 _____

送付先電話番号 _____

送付先受取人名 _____

備考